

【正の数・負の数の加法（同符号の和・異符号の和）】（教科書 P.23 から P.27（9 行目）まで）

☆加法（たし算のことを**加法**、加法の結果を**和** という）

加法の計算は次のように考えることができる⇒ $3 + 6$ は 3 より **6 大きい数**を求める計算

※**No.5**のプリントを思い出しながらかのことを考えてみよう

$$(-4) + 6 = 2$$

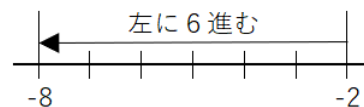
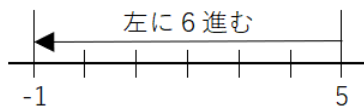
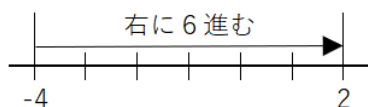
$$5 + (-6) = -1$$

$$(-2) + (-6) = -8$$

〔-4 より 6 大きい数は 2〕

〔5 より -6 大きい数は -1〕

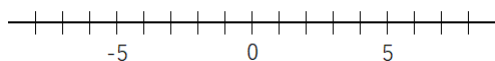
〔-2 より -6 大きい数は -8〕



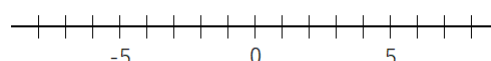
どんなことがわかるかな

次の 2 数の和を、数直線を使って求め、○の中にはその符号を、□の中にはその絶対値を書き入れましょう。○と□についてどんなことがいえるでしょうか。

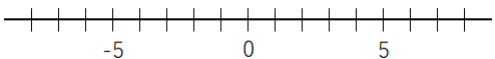
❶ $(+3) + (+4) =$ ○ □



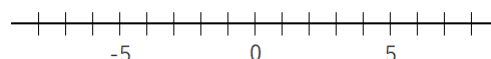
❷ $(+6) + (+2) =$ ○ □



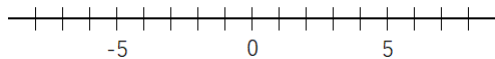
❸ $(-3) + (-4) =$ ○ □



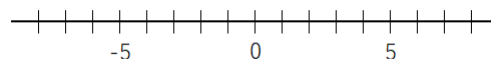
❹ $(-6) + (-2) =$ ○ □



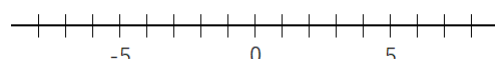
❺ $(+3) + (-4) =$ ○ □



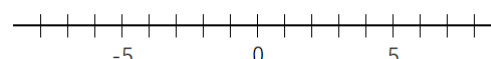
❻ $(+6) + (-2) =$ ○ □



❼ $(-3) + (+4) =$ ○ □



❽ $(-6) + (+2) =$ ○ □



○について

- ・正の数どうしの和は、いつも()の符号
- ・負の数どうしの和は、いつも()の符号
- ・正の数と負の数の和の符号は
2 数の絶対値の()の符号

□について

- ・2 数の符号が()とき 2 数の絶対値の和
- ・2 数の符号が()とき 2 数の絶対値の差

同符号の 2 数の和 (❶❷❸❹)

符 号… 2 数と同じ符号

絶対値… 2 数の絶対値の和

異符号の 2 数の和 (❺❻❼❽)

符 号… 絶対値の大きい方の符号

絶対値… 2 数の絶対値の大きい方
から小さい方をひいた差

同符号の 2 数の和 (例) $(\ominus 12) + (\ominus 7) = \ominus \underbrace{(12+7)}_{\text{絶対値の和}} = \ominus 19$

異符号の 2 数の和 (例) $(-7) + (\oplus 13) = \oplus \underbrace{(13-7)}_{\text{絶対値の差}} = \oplus 6$

$(+5) + (\ominus 15) = \ominus \underbrace{(15-5)}_{\text{絶対値の差}} = \ominus 10$

☆絶対値が等しい異符号の 2 数の和は 0 (例) $(+5) + (-5) = 0$

☆0 と「正の数」の和, 0 と「負の数」の和は, 「その数」のまま

(例) $0 + (+5) = +5$ $0 + (-5) = -5$

P.26 問 1 を解く

- (1) $(-8) + (-3)$ (2) $(-6) + (-10)$ (3) $(-7) + (+18)$ (4) $(+5) + (-9)$

P.26 問 2 を解く

- (1) $(+21) + (-26)$ (2) $(-35) + (+38)$ (3) $(-25) + (+22)$ (4) $(+34) + (-28)$

- (5) $(-27) + (-34)$ (6) $(-12) + (-12)$ (7) $(-49) + (+49)$ (8) $0 + (-37)$

P.27 問 3 を解く

♠, ♣ : 正の数 ♥, ♦ : 負の数

- (1) $(+8) + (-4) =$ (2) $(\quad) + (\quad) =$ (3) $(\quad) + (\quad) =$

- (4) $(\quad) + (\quad) =$ (5) $(\quad) + (\quad) =$ (6) $(\quad) + (\quad) =$